Panasonic® ハイハイ店番 本体 品番 EL23001K 施工説明書

EL23001K

- ●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ●施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- ●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
- ●取扱説明書の保証書欄に必ず必要事項を記入してください。
- ●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品	
	●取付用なべタッピンネジ(4×25)(ボディに付属)…2本 ●パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内……1枚 ●取扱説明書(保証書付き)……1枚 ●施工説明書(本紙)……1枚

安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠警告

必ず守る	**必ず電源(AC100V)を切った状態で施工する。** 活線工事は感電や故障の原因となります。
	AC100V用電源線は確実に締め付ける。 締め付けが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
禁止	**水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しない。** 感電の原因となります。
	小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。
分解禁止	**絶対に分解(指定以外の分解)したり、修理・改造しない。** 感電の原因となります。

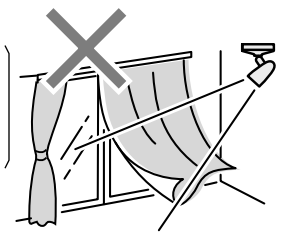
施工上のご注意

- ●この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- ●AC100V電源を入れてから、正常に動作する状態になるまで約5秒かかります。(検知器がEL230421Kの場合は約1分)
- ●検知器および押ボタンなどの小勢力配線は、AC100V配線から50cm以上離してください。
- ●配線の途中で電線接続する場合は、ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
  (電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤作動や動作しないなどの原因となります。)

次のような場所には設置しないでください。(誤動作や故障の原因となります。)

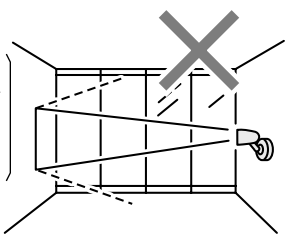
●カーテンなど検知エリア内に動くものがある場所

(検知エリアをカーテンが遮らないように取り付けてください。)

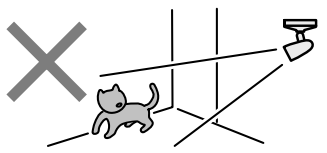


●反射の強い白壁などにまっすぐに向けた取り付け

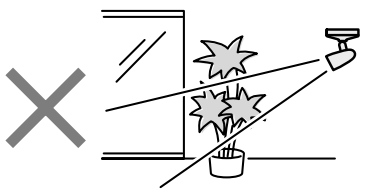
(壁と人との反射量の差が少なく、動作しないことがあります。)



●ねずみや猫などの通路になりやすい場所

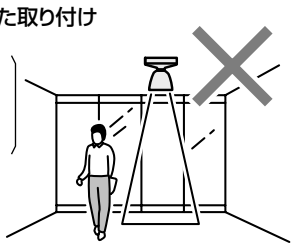


●検知エリア内に障害物のある場所

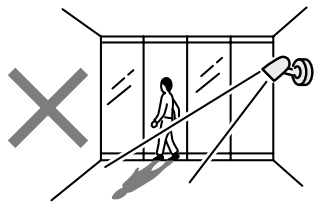


●真下に向けた取り付け

(検知エリアが狭くなり動作しないことがあります。)

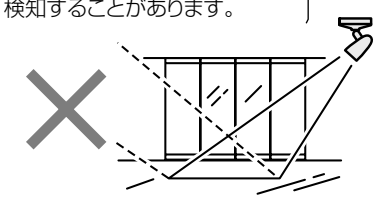


●太陽光により人影が映る場所

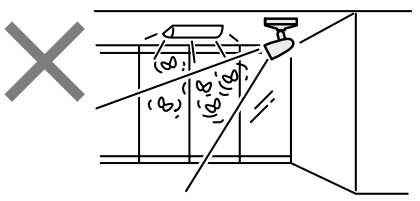


●大理石など反射の強い床面のある場所

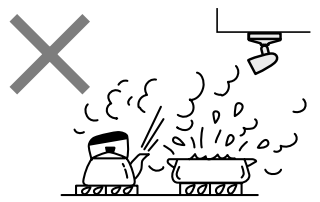
(反射により検知エリア外の人を検知することがあります。)



●軒などの屋外

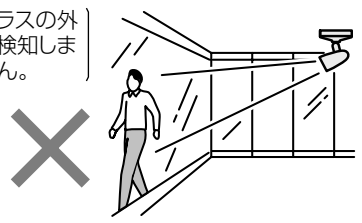


●水、湯気、油などのかかる場所

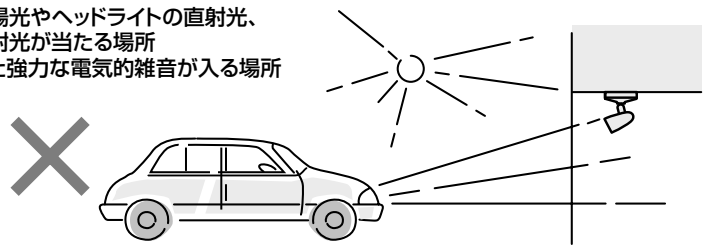


●人と検知器の間がガラスで遮られている場所

(ガラスの外は検知しません。)



●太陽光やヘッドライトの直射光、反射光が当たる場所
また強力な電気的雑音が入る場所



■配線方法

- ●接続する商品は別途お買い求めください。
- ●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

配線上のご注意

- ●音色の選択ができます。4 端子への配線はお好みの音色に合わせて行ってください。
- ●ハイハイ店番4熱線式検知器(EL230421K)(別売)を接続している4 端子には、ほかの検知器および受光器を接続しないでください。
- ●来客報知用押ボタンは検知器および受光器が接続されている 4 端子へは接続しないでください。(検知器および受光器と押ボタンの音色を区別するため)
- ●熱線式検知器は赤外線式検知器の接続していない 4 端子に各2台まで接続できます。

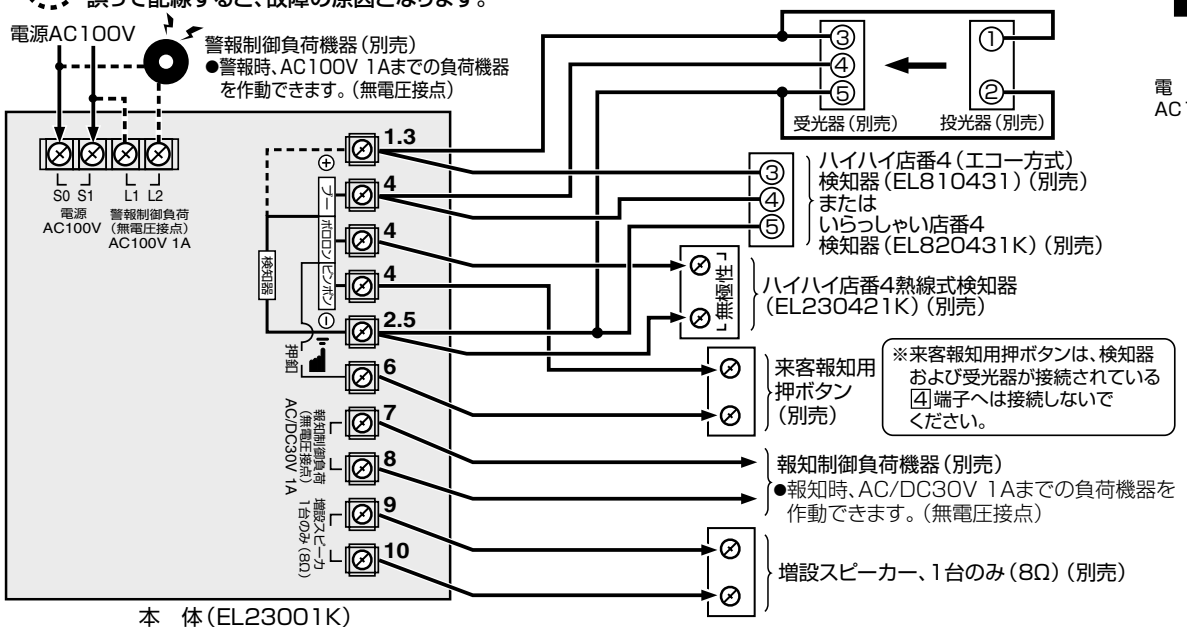
■ハイハイ店番本体と検知器の使用条件

(2008年7月現在)

検知器の使用条件	接続可能台数				
	赤外線式検知器			熱線式検知器	
	ハイハイ店番4(エコー方式)検知器(EL810431)	いらっしゃい店番4検知器(EL820431K)	投光器・受光器(EL311051,EL311071 EL313051,EL313071)	ハイハイ店番4熱線式検知器(EL230421K)	熱線式検知器4(EK3410,EK3411,EK3430) 熱線式検知器(EK3423K,EK3444K EK3464K,EK3481K EK3453K)
同じ検知器を使用する場合	2台まで	2台まで	2セットまで	6台まで(4端子へ各2台)	6台まで(4端子へ各2台)
赤外線式検知器を1台または1セット使用する場合	1台まで	1台まで	1セットまで	4台まで(4端子へ各2台)	4台まで(4端子へ各2台)

熱線式検知器4(別売)・熱線式検知器(別売)の接続方法

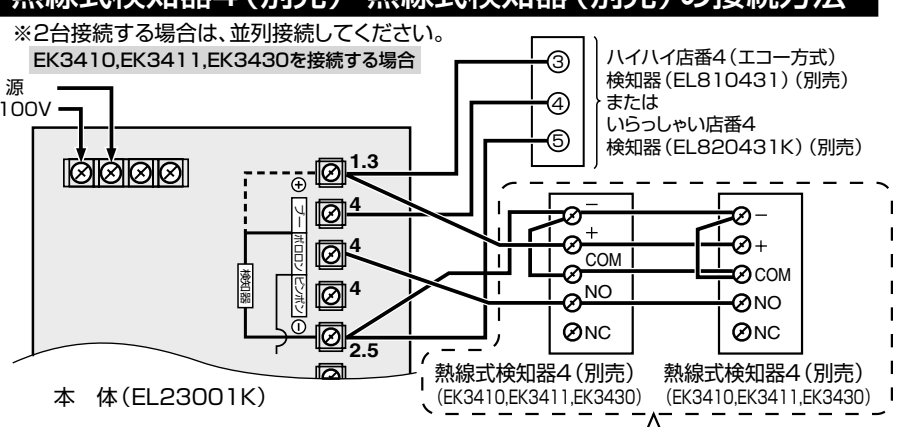
注 ③④⑤ の配線には極性があります。端子番号を合わせてください。誤って配線すると、故障の原因となります。



本 体(EL23001K)

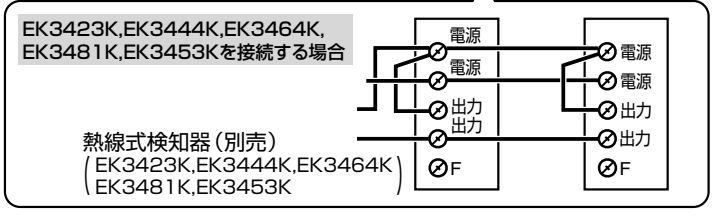
※2台接続する場合は、並列接続してください。

EK3410,EK3411,EK3430を接続する場合



本 体(EL23001K)

EK3423K,EK3444K,EK3464K,EK3481K,EK3453Kを接続する場合



■配線可能距離

注 報知・警報制御負荷端子への配線は接続機器の配線可能距離にしたがってください。

配線区間＼使用電線	0.5mm² または φ0.8	0.75mm² または φ1.0	1.25mm² または φ1.2	2.0mm² または φ1.6
本体〜検知器	50m			
本体〜投・受光器、来客報知用押ボタン	30m	50m	80m	130m
本体〜増設スピーカー	100m			

■音色の選択

	音色	音量(可変)	鳴動時間
報知側	ピンポン	65dB以上	約3秒
	ポロロン	65dB以上	約6秒
	ブー	65dB以上	約2秒
警報側	ピーポー	70dB以上(可変不可)	約3〜60秒(可変)または連続

来客報知用押ボタンを押した場合

- ●報知音は本体のモードに関係なく4 端子で選択された音が鳴ります。
  また、報知制御負荷に接続した機器も動作します。

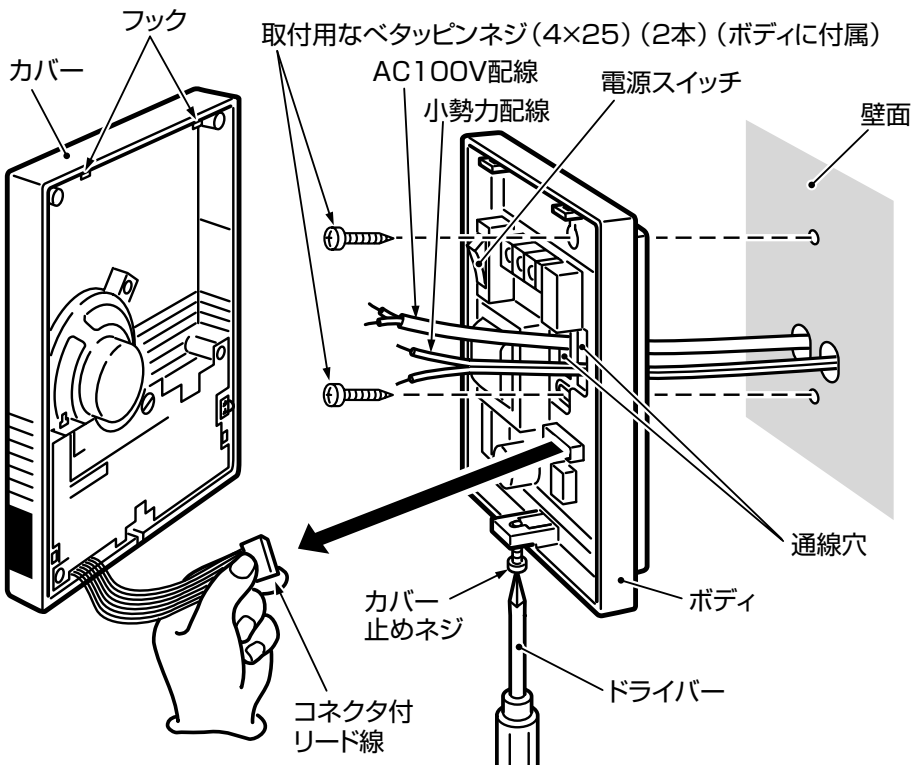
増設スピーカーを接続した場合

- ●増設スピーカーは本体と同じ音色で鳴ります。

取　付　方　法

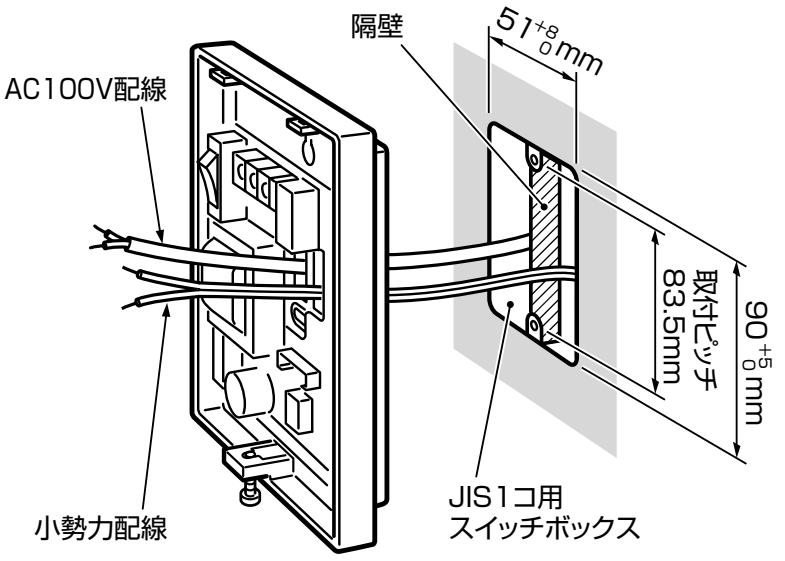
ボックスなし取付の場合

1. カバー止めネジをゆるめ、カバーを開ける。
2. コネクタ付リード線をはずす。
3. 通線穴に電線を通してボディを付属の取付用なベタッピンネジ（4×25）（2本）で壁面に固定する。
4. 電源スイッチを「OFF」側にする。
5. 結線する。（配線方法参照）
6. 警報時間を設定する。（警報時間の設定方法参照）
7. カバーのコネクタ付リード線をボディのコネクタ受けに差し込む。
8. 配線に間違いがないか確認のうえ、電源スイッチを「ON」側にする。
9. カバー上部のフックをボディに引っ掛け、カバーをカバー止めネジで固定する。



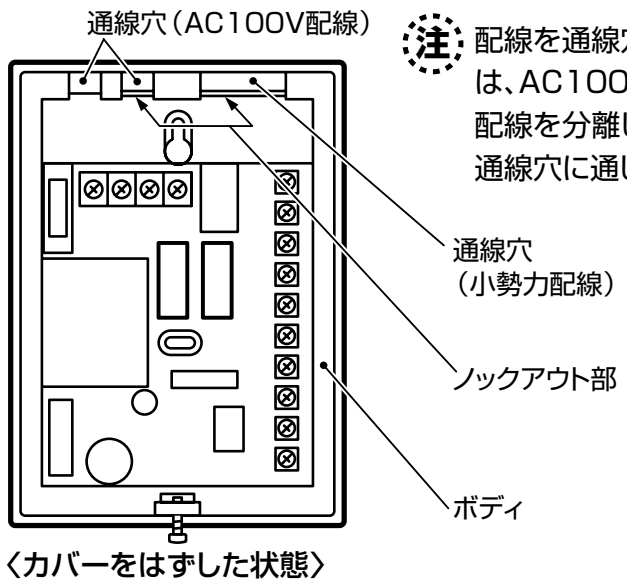
ボックス取付の場合

注 AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程3102-7により、堅ろうな隔壁を取り付けて絶縁してください。



露出配線する場合

- ●通線穴を使用してください。
- ●配線方向に合わせてノックアウト部をニッパーなどで切り取って配線してください。

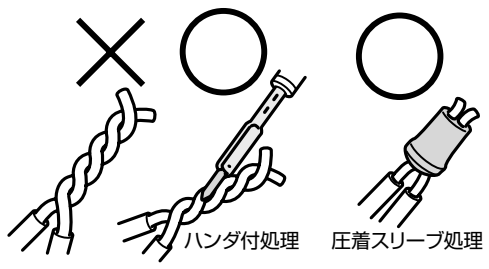


〈カバーをはずした状態〉

注 配線を通線穴に通す場合は、AC100V配線と小勢力配線を分離して別々の通線穴に通してください。

注 配線の途中で電線接続する場合はハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。

（電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤作動や動作しないなどの原因となります。）



警報時間の設定方法・報知音、警報音の鳴動設定

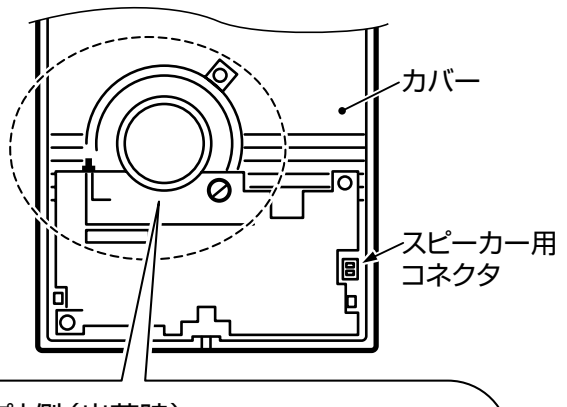
●**警報時間調整切替スイッチで警報モード時の警報時間の設定ができます。**

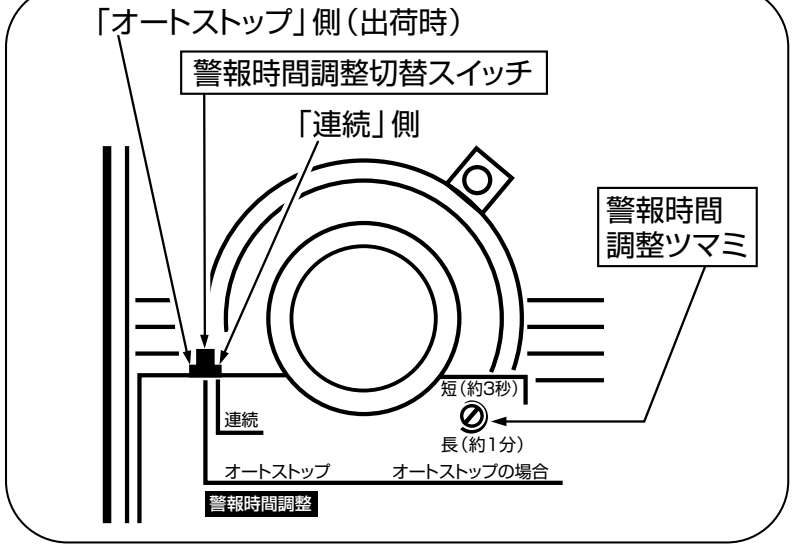
「オートストップ」側…警報時間調整ツマミにより約3～60秒までの可変設定ができます。

「連 続」側……連続して鳴動します。

●**本体の報知音、警報音を鳴動させない場合**

スピーカー用コネクタを抜いてください。





■施工後の動作確認方法

施工後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。

■異常時の点検

状　態	点　検	処　置
検知器の動作表示灯は点灯するが、接続機器が動作しない	●接続機器への配線が断線または短絡していませんか。	➡配線の断線または短絡を直す。
	●端子のゆるみはありませんか。	➡ゆるんだ端子を締め直す。

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部　〒514－8555 三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

8A1 582 00009 M0195-90708Y